

貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

自治体名:小矢部市

会計:一般会計等

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	44,275,887,541	固定負債	18,997,456,758
有形固定資産	41,987,053,017	地方債	17,289,491,869
事業用資産	24,367,823,730	長期未払金	-
土地	3,916,957,106	退職手当引当金	1,615,381,000
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	51,764,753,908	その他	92,583,889
建物減価償却累計額	-33,404,613,088	流動負債	1,546,910,515
工作物	5,991,661,789	1年内償還予定地方債	1,366,654,518
工作物減価償却累計額	-3,938,826,131	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	134,371,090
航空機	-	預り金	9,489,323
航空機減価償却累計額	-	その他	36,395,584
その他	-	負債合計	20,544,367,273
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	37,890,146	固定資産等形成分	44,814,101,381
インフラ資産	16,922,443,054	余剰分(不足分)	-18,827,697,623
土地	970,172,438		
建物	302,476,776		
建物減価償却累計額	-245,832,240		
工作物	68,510,537,939		
工作物減価償却累計額	-52,661,066,559		
その他	869,000		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	45,285,700		
物品	3,634,359,974		
物品減価償却累計額	-2,937,573,741		
無形固定資産	137,960,266		
ソフトウェア	137,960,266		
その他	-		
投資その他の資産	2,150,874,258		
投資及び出資金	1,349,026,963		
有価証券	35,440,719		
出資金	1,313,586,244		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	95,056,861		
長期貸付金	431,454,985		
基金	285,535,050		
減債基金	-		
その他	285,535,050		
その他	-		
徴収不能引当金	-10,199,601		
流動資産	2,254,883,490		
現金預金	388,907,484		
未収金	1,220,138,718		
短期貸付金	-		
基金	538,213,840		
財政調整基金	512,678,908		
減債基金	25,534,932		
棚卸資産	107,745,462		
その他	-		
徴収不能引当金	-122,014		
資産合計	46,530,771,031	純資産合計	25,986,403,758
		負債及び純資産合計	46,530,771,031

行政コスト計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

自治体名:小矢部市

会計:一般会計等

(単位:円)

科目	金額
経常費用	17,352,005,683
業務費用	7,768,060,548
人件費	1,966,934,692
職員給与費	1,692,290,399
賞与等引当金繰入額	134,371,090
退職手当引当金繰入額	-121,900,000
その他	262,173,203
物件費等	5,617,581,512
物件費	2,559,480,017
維持補修費	444,971,366
減価償却費	2,613,130,129
その他	-
その他の業務費用	183,544,344
支払利息	89,373,434
徴収不能引当金繰入額	10,321,615
その他	83,849,295
移転費用	9,583,945,135
補助金等	6,580,065,523
社会保障給付	1,737,698,902
他会計への繰出金	1,261,350,866
その他	4,829,844
経常収益	595,520,120
使用料及び手数料	152,149,074
その他	443,371,046
純経常行政コスト	16,756,485,563
臨時損失	48,779,687
災害復旧事業費	28,383,696
資産除売却損	20,395,991
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	5,823,073
資産売却益	5,823,073
その他	-
純行政コスト	16,799,442,177

純資産変動計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日自治体名:小矢部市
会計:一般会計等

(単位:円)

科目	合計			余剰分 (不足分)
	固定資産 等形成分			
前年度末純資産残高	26,560,002,250	45,543,629,201	-18,983,626,951	
純行政コスト(△)	-16,799,442,177		-16,799,442,177	
財源	16,205,100,558		16,205,100,558	
税収等	9,370,058,310		9,370,058,310	
国県等補助金	6,835,042,248		6,835,042,248	
本年度差額	-594,341,619		-594,341,619	
固定資産等の変動(内部変動)		-746,136,167	746,136,167	
有形固定資産等の増加		1,606,727,438	-1,606,727,438	
有形固定資産等の減少		-2,640,654,079	2,640,654,079	
貸付金・基金等の増加		638,760,658	-638,760,658	
貸付金・基金等の減少		-350,970,184	350,970,184	
資産評価差額	-	-	-	
無償所管換等	16,608,347	16,608,347		
その他	4,134,780	-	4,134,780	
本年度純資産変動額	-573,598,492	-729,527,820	155,929,328	
本年度末純資産残高	25,986,403,758	44,814,101,381	-18,827,697,623	

資金収支計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日自治体名：小矢部市
会計：一般会計等

(単位：円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	14,847,351,001
業務費用支出	5,263,405,866
人件費支出	2,084,484,434
物件費等支出	3,004,451,383
支払利息支出	89,373,434
その他の支出	85,096,615
移転費用支出	9,583,945,135
補助金等支出	6,580,065,523
社会保障給付支出	1,737,698,902
他会計への繰出支出	1,261,350,866
その他の支出	4,829,844
業務収入	15,903,241,200
税込等収入	9,341,302,558
国県等補助金収入	5,975,644,968
使用料及び手数料収入	151,947,174
その他の収入	434,346,500
臨時支出	28,383,696
災害復旧事業費支出	28,383,696
その他の支出	-
臨時収入	23,693,000
業務活動収支	1,051,199,503
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,212,772,729
公共施設等整備費支出	1,578,374,249
基金積立金支出	142,944,545
投資及び出資金支出	299,665,623
貸付金支出	191,788,312
その他の支出	-
投資活動収入	767,223,942
国県等補助金収入	409,651,014
基金取崩収入	190,489,940
貸付金元金回収収入	154,131,956
資産売却収入	12,951,032
その他の収入	-
投資活動収支	-1,445,548,787
【財務活動収支】	
財務活動支出	1,357,282,600
地方債償還支出	1,322,707,681
その他の支出	34,574,919
財務活動収入	1,978,400,000
地方債発行収入	1,978,400,000
その他の収入	-
財務活動収支	621,117,400
本年度資金収支額	226,768,116
前年度末資金残高	152,650,045
本年度末資金残高	379,418,161
前年度末歳計外現金残高	83,385,759
本年度歳計外現金増減額	-73,896,436
本年度末歳計外現金残高	9,489,323
本年度末現金預金残高	388,907,484

一般会計等財務書類に係る注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

- ① 有形固定資産……………取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
ア 昭和59年度以前に取得したもの……………再調達原価
ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。
イ 昭和60年度以後に取得したもの
取得原価が判明しているもの……………取得原価
取得原価が不明なもの……………再調達原価
ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。
- ② 無形固定資産……………取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
取得原価が判明しているもの……………取得原価
取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

- ① 満期保有目的有価証券……………償却原価法（定額法）
- ② 満期保有目的以外の有価証券
ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格
（売却原価は移動平均法により算定）
イ 市場価格のないもの……………取得原価（又は償却原価法（定額法））
- ③ 出資金
ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格
（売却原価は移動平均法により算定）
イ 市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（リース資産を除きます。）…定額法
- ② 無形固定資産（リース資産を除きます。）…定額法
- ③ リース資産
ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
イ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
……………リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

- ① 投資損失引当金
市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。
- ② 徴収不能引当金
未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。
長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。
長期貸付金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。
- ③ 退職手当引当金
地方公共団体財政健全化法における退職手当支給額に係る負担見込額算定方法に従っております。
- ④ 損失補償等引当金
履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。
- ⑤ 賞与等引当金
翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

ただし、少額リース資産及び 短期のリース取引には簡便的な取扱いをし、通常の賃貸借に係る方法に準じて会計処理を行っております。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(8) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が 50 万円以上の場合に資産として計上しています。

ソフトウェアについても物品の取扱いに準じています。

2 重要な会計方針の変更等

(1) 会計方針の変更

総務省「新地方公会計の推進に関する研究会」報告の「新統一的な基準」の表示方法に合わせるため、平成28年度から大幅な表示の変更を行っております。

(2) 表示方法の変更

有形固定資産の減価償却累計額について、各有形固定資産の項目に対する控除項目として、減価償却累計額の項目をもって表示する方法（間接法）としております。

(3) 資金収支計算書における資金の範囲の変更

該当無し

3 重要な後発事象

(1) 主要な業務の改廃

該当なし

(2) 組織・機構の大幅な変更

該当なし

(3) 地方財政制度の大幅な改正

該当なし

(4) 重大な災害等の発生

該当なし

4 偶発債務

(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

他の団体の金融機関等からの借入債務に対し、保証を行っています。

団体名：小矢部市土地開発公社

確定債務額2,350百万円

履行すべき額が確定していない損失補償債務等

損失補償等引当金計上額：なし

貸借対照表未計上額：なし

総額：2,350百万円

(2) 係争中の訴訟等

係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているものではありません。

5 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

① 一般会計等財務書類の対象範囲は次のとおりです。

一般会計

公共用地先行取得事業特別会計

② 一般会計等の対象範囲と普通会計の対象範囲に差異はありません。

③ 地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

④ 百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

⑤ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の状況は、次のとおりです。

実質赤字比率	0.0 %
連結実質赤字比率	0.0 %
実質公債費比率	14.9 %
将来負担比率	196.7 %

⑥ 利子補給等に係る債務負担行為の翌年度以降の支出予定額 該当なし

⑦ 繰越事業に係る将来の支出予定額

・継続費通次繰越額

該当無し

・繰越明許費

(一般会計) 54,335 千円

・事故繰越額

該当無し

⑧ 過年度修正等に関する事項

該当無し

(2) 貸借対照表に係る事項

① 棚卸資産の内訳は、次のとおりです。

・防災備蓄品

真空バック毛布	4,690個	21,006 千円
飲料水	34,720個	9,249 千円
ビスケット	23,160個	2,926 千円
発電機	22機	2,433 千円
その他		22,486 千円
小計		58,100 千円

・肥育牛

雄	99頭	25,380 千円
雌	90頭	24,266 千円
小計		49,646 千円
合計		107,745 千円

② 減債基金に係る積立不足額 該当なし

③ 基金借入金（繰替運用） 該当なし

④ 地方交付税措置のある地方債のうち、将来の普通交付税の算定基礎である基準財政需要額に含まれることが見込まれる金額

11,315百万円

⑤ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における将来負担比率の算定要素は、次のとおりです。

標準財政規模	8,668,393 千円
元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額	千円
将来負担額	36,073,545 千円
充当可能基金額	976,651 千円
特定財源見込額	千円
地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額	18,612,847 千円

(3) 行政コスト計算書に係る事項

総務省改訂モデルから統一的な基準へ変更したことによる主な影響額は次のとおりです。

該当無し

(4) 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

① 固定資産等形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

② 余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(5) 資金収支計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

① 基礎的財政収支

業務活動収支（支払利息支出を除く）	1,140,573 千円
投資活動収支（基金取崩収入及び基金積立支出を除く）	△ 1,493,094 千円
基礎的財政収支	△ 352,520 千円

② 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

業務活動収支	1,051,200 千円
減価償却費	△ 2,613,130 千円
徴収不能引当金繰入額	△ 10,322 千円
退職手当引当金繰入額	121,900 千円
賞与等引当金の増減額	△ 4,350 千円
未収債権、未払債権等の増減額	465,282 千円
資産除売却損	△ 20,396 千円
資産売却益	5,823 千円
投資活動収入の国県等補助金収入	409,651 千円
本年度差額	△ 594,342 千円

③ 一時借入金

資金収支計算書上、一時借入金の増減額は含まれていません。

なお、一時借入金の限度額は次のとおりです。

一時借入金の限度額 2,700百万円

④ 重要な非資金取引

重要な非資金取引は以下のとおりです。

賞与等引当金繰入額	134,371 千円
減価償却費	2,613,130 千円
徴収不能引当金繰入額	10,322 千円